

特集

NAM

超パイロット図鑑

構成・画 / M.Kelly



Saigon Memories

004 第32回 **サイゴン物語**
記者たちのベトナム戦争 [9]

The Equipments of the U.S. Force

027 **[現用米軍装備カタログ]**
90年代のSEALダイバー装備特集
Underwater Demolition Teams(UDT)
「海」装備特集 part 1

ミリタリーアイコン

036 勝利に向かって踏み出せ——
コンバットブーツ

042 **BATES 2021 New Models**

●Report by Tomo Hasegawa

ウエスタンアームズ新製品リポート

048 **キンバー・ウォリアー・カスタム**
《ジョン・ウィック・モデル / ガンブラックVer》&
ベレッタM92FS
《ダイハード・バトルダメージVer》

ボスゲリラ不屈のトイガン魂!

058 **サバゲ・マスカラ・コントラ・マスカラ!**

東京マルイ 新製品リポート ●by Takeo Ishii

061 **次世代電動ガン H&K MP5A5 &
ガスブローバック グロック19 Gen4**

月刊 THE グリーンベレー ●文と写真 / DJちゅう

069 **GREEN BERET**
DJちゅうと3 MADE ISSUEができるまでSP!

ニッポンのちからこぶ ●写真と文 / 菊池雅之

076 **日本北方防衛の要 大湊基地**

Militaria Roundup! Part 2

080 **M1951 フィールド・ジャケット&パーカ**

086 **新製品情報 COMBAT mono**

シン・サバゲ三等兵
やってみな、飛ぶぞ!?

088 **本格戦闘機フライトシミュレーター、
LUXURY FLIGHT 搭乗記**

092 **トイガンニュース**

タナカワークス SIG P228 ツー・トーン
《EVO2 フレームHW》

COMBAT FRONT LINE

008 **今月中田焦点!**

009 **高崎靴工兵のホップの手仕事日誌**
第2回軍幕のファスナー取り付け

010 **新作映画情報「ジェントルメン」「ROGUE」「プロジェクトV」**

095 **Stringer Blues** 写真・文 / 横田 徹

098 **サバゲ三等兵APS部 ガス抜きにマック塚さん風の「アレ」やってみた!**

100 **コラム ベトナムを遠く離れて——**。文 / 小倉 徹

102 **ゲームOTT「バイオハザード ヴィレッジ」**

104 **レアミリタリーテクノロジー**

105 **ミリタリーセレクトショップ 坂地組**

109 **PRESENT & CIC**

110 **バックナンバー**

111 **奥付&次号予告**



ミリタリースポッター

Wrecked Tank and Kitten - Tarawa Invasion, November 1943.
After the smoke of battle had cleared on Betio Island, Tarawa, this tiny kitten crept out from beneath a wrecked Japanese tank, to receive a drink from a U.S. Marine.

Photo/NARA, circa late November 1943

太平洋中西部の珊瑚礁からなる島、タラワ島。第2次世界大戦で、日米が白兵戦を繰り返した。
「日本軍との激しい戦闘が終わり、あたりにまだ硝煙が立ちこめ、火薬の匂いが残るなか、打ち捨てられた戦車の下から、かすかな声のようなものが聞こえてきた。逃げ遅れた日本兵かと、恐る恐る懐中電灯を照らしてみると、小さな子猫がいた。水筒の水を置いてやると、喉を鳴らして飲み始めた。」
アメリカ軍海兵隊コンバットカメラマン、ノーマン・ハッチ談 1943年タラワ島



NAM

超パイロット図鑑

まだアメリカがベトナムに参戦前の1962年頃のこと。
低空飛行していた偵察中のアメリカ軍の航空機が
ライフルやサブマシンガンで攻撃を受けることが頻発した。
これに対しアメリカ軍はセラミック・シールドを何重にも合わせた
ガラス強化プラスチック製のアーマーの開発を開始。
後にベトナム・ジャングルでの戦いがエアークルーたちの防御と
サバイバルを含めた装備へと改良されるキッカケとなった。

構成・画 M. Kelly

310

USAF

NAM

超パイロット図鑑



ベトナムでアメリカ空軍パイロットが地上に降りた際、救助されるまでのサバイバル装備が改良された。

アメリカ空軍では、地上でのサバイバル・ギアとしてライフ・サポート・イクイップメントの装備と指導が始まった。これは敵地に降りた時、速やかに不要な装備類を身体から取り外すことができるシステムだ。これにより、装着方法は、まずはフライト・スーツ、次にGスーツを着き、サバイバル・ベストを着てハーネスを付ける。最後に浮き袋のライフ・プリサーバーをハーネスに付ける。これは、あくまで海上での遭難を想定している。したがって地上に降りた際には、クイック・リリース機能を使ってハーネスを外すと同時にライフ・プリサーバーも外せる。次にGス

ーツを脱ぎ、状況によってヘルメットをとる。こうしてサバイバル・ベストだけになり身軽に移動するのだ。空軍のサバイバル・ベスト (SRU-21/P) は単独のベスト型で地上での動きをさまたげず、かさばらないようにデザインされている。ベトナムでは1965年頃から使用が始まった。サイズはMとLの2種類で背身の紐を使ってサイズ調整ができる。各ポケットには、シグナル・ミラー、コンパス、ストロボ・ライト、38口径リボルバー・ピストル、フレアー、薬品類、ナイフ、折り畳み式水筒、サバイバル・ラジオにホイッスルなどが、指定された位置に装備されている。



USAF SURVIVAL KNIFE

SMITH & WASSON MODEL 15 38CALIBER

HGU-2A/P FLYING HELMET & MBU-5/P OXYGEN MASK



L-2B FLYING JACKET



K-2B FLYING COVERALL



PCU-15/P HARNESS



SRU-21/P SURVIVAL VEST

CUTAWAY CSU-3/P ANTI-G GARMENT



LPU-2/P LIFE PRESERVER



SDU-5E PILOTS STROBE LIGHT



TROPICAL COMBAT BOOTS (VIBRAM SOLE)



SRU-21/P SURVIVAL VEST COMPONENTS



第183回 **【現用米軍装備カタログ】**
90年代のSEALダイバー装備特集
Underwater Demolition Teams(UDT)
「海」装備特集 part 1

今月号は「海」装備特集。第二次世界大戦中、米国海軍は水中破壊工作部隊(UDT)を創設する。戦後、UDTはSCUBA(Self Contained Underwater Breathing Apparatus=自給式呼吸装置)装備に移行し、朝鮮戦争・ベトナム戦争を経て、エリート戦術部隊へと認められるようになっていった。彼らの主な任務は、上陸を妨害する障害物や敵艦船の偵察と水中破壊。一方でマーキュリー、ジェミニ、アポロの宇宙計画で海上に着水した宇宙カプセルと宇宙飛行士の回収など華やかな活躍も行なっている。水中破壊訓練、クロズド・サーキット・ダイビング訓練、戦闘水泳訓練及び特殊潜航艇訓練にコマンドー訓練が追加され、現在存在するSEAL入隊資格プログラムの先駆けとなった。1983年にUDTはSEALチームまたはスイマー・デリバリー・チーム(SDVT)として再編成することになる。その後、SDVTは名称をSEAL Delivery Vehicle Teamsとして、再編成されている。

●解説/松原 隆 ●撮影/山崎 学 ●協力ショップ/LAZY CAT、トイソルジャー、TRI'S(旧特工工房) ●協力/木島秀邦

**THE EQUIPMENTS
OF THE U.S. FORCE**

THE EQUIPMENTS OF THE U.S. FORCE



海軍シールズの誕生

1950年代半ば、米国海軍はUDTの臨機応変な任務に注目し、彼らの伝統的な水泳とダイビング活動に、パラシュート訓練やゲリラ/反乱作戦を含む陸上戦闘スキルを追加した、新しいタイプのユニットを作成する

ことを決定する。これらの新しいチームは、海 (Sea)、空 (Air)、陸 (Land)の頭字語であるSEALとして知られるようになる。

ジョン・F・ケネディ大統領が彼らの必要性を認識し、ゲリラ活動に対する特殊作戦部隊の使用を支持したのは有名だ。1962年1月にはコナドに

SEALチーム1、リトルクリークにはSEALチーム2を配備。UDT-11 & 12は西海岸、UDT-21&22は東海岸で活動をしている。1983年5月、その4つのUDTチームはSEALチームとして再編成される。UDT 11はSEAL 5となり、UDT 12はシール・デリバリー・ビークル (SDVT)・チーム1となった。

UDT 21はSEALチーム4となり、UDT 22はSDVT 2になる。1983年10月にはSEALチーム3が設立され、それ以降SEALチームは、パナマのマヌエル・ノリエガやコロンビアの麻薬王パブロ・エスコバルなどの有名な標的を追跡し、イラクとアフガニスタンでの戦争で多大な活躍をすることになる。



警察や軍事活動を含む戦術的な能力でスキューバダイビングや水中水泳の訓練を受けた人を「フロッグマン」と呼ぶが、フロッグマンという言葉は、1870年代に冒険家ポール・ボイトンの「大胆不敵なフロッグマン」という芸名を、後に米海軍のジョン・スペンスがニックネームに使ったといわれている。



90年代NAVY SEAL UDT装備紹介

1990年代のUDT装備には潜水装置Draeger製 LAR-5UBA (前期)とLAR-5UBA Mod2 (後期)が存在する。前期は下部の酸素タンクが薄緑、後期は多少容量が大きくなった黒のタンクとなっている。



LAR-5UBA Mod2 (後期)を装備するSEAL隊員。バルブレギュレーター、トップゲージも改良されている。





勝利に向かって踏み出せ コンバットブーツ

軍隊の数ある兵科の中でもっともキツイのは銃と弾薬、数々の装備品を持って道なき道を進む歩兵であろう。彼らのために研究開発が繰り返されるコンバットブーツは耐久性と機能性を兼ね備えた究極のフットウェアといっても過言ではない。今回は第2次世界大戦とベトナム戦争で歩兵が履いたブーツに焦点を当ててお送りしよう。

構成 / コンバットマガジン編集部
文 / 鈴木健太郎

ヨーロッパの伝統にならって長靴が主流だったアメリカ軍においてくるぶし丈の編み上げ式ブーツが初めて採用されたのは1816年で、第3代大統領トーマス・ジェファソンが就任式で良く似たデザインのブーツを履いたことにちなんでジェファソンブーツと呼ばれたこのブーツは当時の一般的な靴やブーツと同様、左右の区別がなく非常に履き心地が悪かったのだが、南北戦争でもデザインはほとんど変化せず左と右で異なる型を用いたブーツの普及は20世紀初頭まで待たねばならなかった。第1次大戦ではぬかるみだらけの塹壕から足を守るために本体がより厚い裏革となり、アウトソールの革も厚みを増した通称トレンチブーツが登場し耐水性が大きく向上した一方でその重量により快適さは失われ、着用した兵士からはLITTLE TANKSと名付けられた。第1次大戦が終結する

黒革とオリーブグリーンのキャンバスを組み合わせたジャングルブーツは洗練されたデザインで、今やミリタリーの範疇を大きく超えたアイテムになっている。



(上) 1942年型のジャングルブーツは丈が長く、着脱に手間がかかるため、支給された兵士の中にはくるぶし丈に切り詰めて履く者もいた。
(下) 本体が裏革となったタイプ3。タイプ1とタイプ2、そしてタイプ3の正式名称はサービスシューズで、第2次世界大戦ではコンバットブーツとして広く用いられた。

BATES 2021 New Models

RUSH SHIELD MID

RUSH LOW

MANEUVER MID &

VELOCITOR

GX-4, GX-8 GORE-TEX

BOOTS

TACTICAL SPORT



“頑強”かつ“快適”。
素晴らしいパフォーマンスで
タクティカルブーツ界を牽引する「BATES」。
ついに待望の2021年の最新モデルが上陸。
研ぎ澄まされた高性能を体感せよ!

Report by Tomo Hasegawa
撮影協力および商品問合せ先 / 中田商店 ☎03-3832-8577
<https://www.nakatashoten.com/>

強さの秘密は新感覚の快適性 “RUSH SHIELD MID”

最初に紹介するのはベイツ社最新モデル「ラッシュ“シールド”ミッド」。

ゴツすぎずスッキリした形状。しかも軽量で、ミッドカット好きには堪らないデザインになっている。

さっそく実際に履いてみると新感覚の履き心地に包まれる。

ブーツ内部のフロント部分が幅広になっており、足の親指から小指の付け根部分横方向にユトリが設けられていて、ユツタリした履き心地。もちろん内部で足がズレるような緩さではない。ヒール部分から足の甲部分がかかりホールドされ、足指の付け根から指先だけに開放感があって、グッと踏ん張りが効くのだ。

新品なのにずっと以前から履きなれたような履き心地はそのままに、ダッシュの際のグリップ力も向上。その秘密は“4mm”のヒールドロップ。カカトからつま先へ、絶妙な傾斜具合がより俊敏な動きを可能にする。新感覚の快適性が、新たな“強さ”を発揮。これまでのタクティカルブーツからさらに進化し

ヒールからつま先へかけて、絶妙な傾斜が設けられ、より俊敏な動きを可能にする。ヒール部分のホールド感は素晴らしい。

た感触が新鮮だ。

柔軟性と安心感を両立した アウターデザイン

アウターは本革とメッシュナイロン、樹脂による複合構造。

メッシュ生地で柔軟性をキープしながら、同時に樹脂パーツと本革を要所所に配置することで型崩れを防止。また、バンパーとして足の怪我を防ぐ役割も担っている。

さらにベイツ社独自の「ドライガード」装備で、優れた通気性と防水効果を発揮。上から2番目のシューレース穴の高さまで、水の侵入を防いでくれる。

また、ラバーアウツソールはUS工場規格「ASTM2913-19」に適合する防滑性能を発揮。雨で濡れた鉄板や大理石でも安心して踏破できる。優れたソールパターンと相まって、山斜面でもしっかりグリップ。この安心感と快適性はキャンプやハイキングなど、アウトドアスポーツでも嬉しいもの。ぜひ実物を履いて、性能を見きわめて欲しい!



BATES:RUSH SHIELD MID/Coyote Brown
ラッシュ“シールド”ミッド 価格15,800円
幅広ソールデザインで新たな快適性を装備。踏ん張れる力、優れたグリップ力など、タクティカルブーツに欠かせない性能がさらに進化。



BATES:RUSH SHIELD MID/Black
ラッシュ“シールド”ミッドのブラックモデルは精悍な印象が魅力。

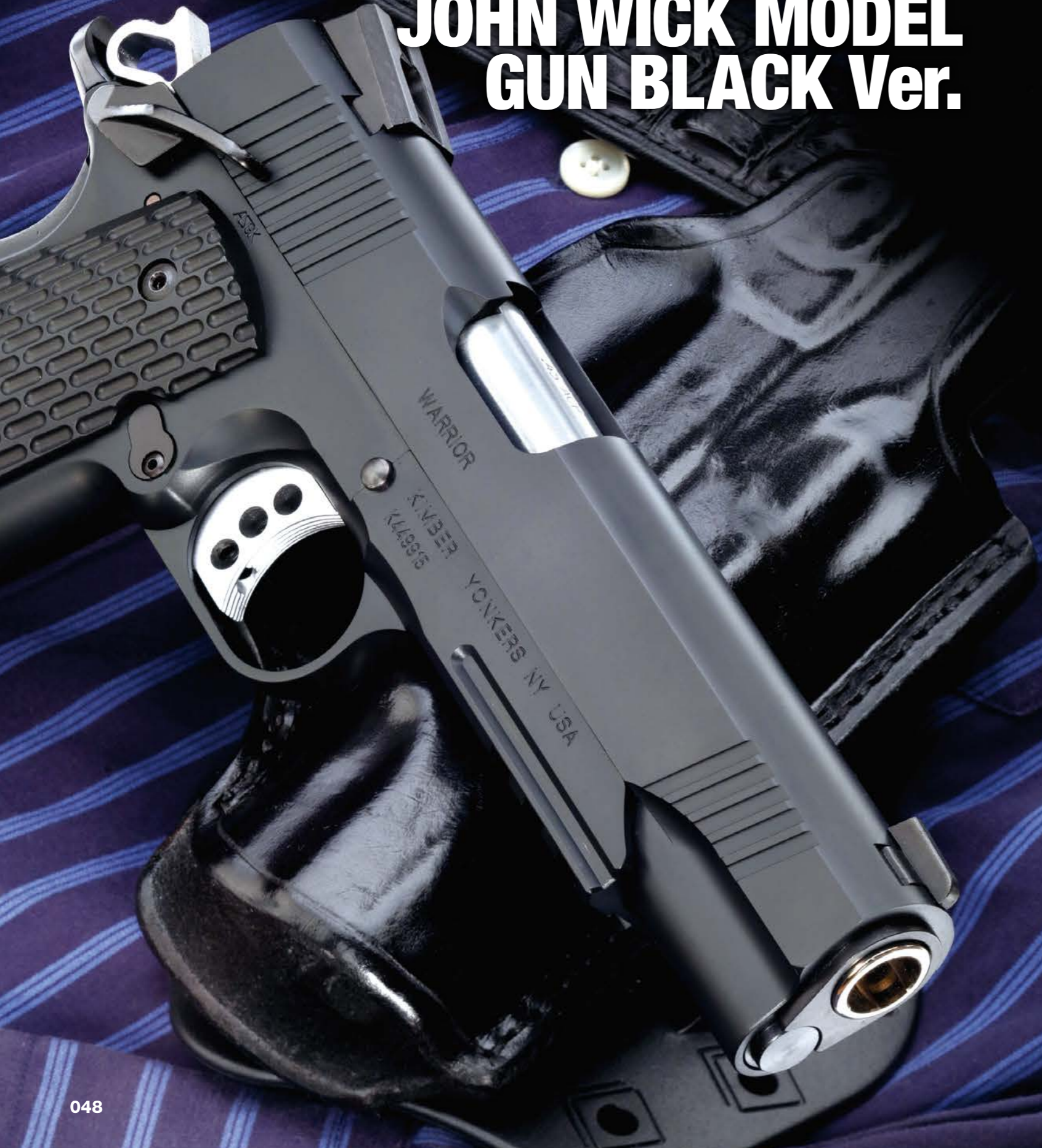


ソールはトライアングルのトレッドパターン。ぬかるむ斜面もしっかりグリップ。



ドライガード採用で、防水透湿性能を発揮。ベイツオリジナルの優れた素材で、快適装用を可能にする。

**MOVIE GUN SERIES KIMBER
 WARRIOR CUSTOM
 JOHN WICK MODEL
 GUN BLACK Ver.**



**キンバー・ウォリアー・カスタム
 (ジョン・ウィック・モデル / ガンブラック・バージョン)**
 ●全長:約220mm ●銃身長:約114mm
 ●重量:約970g ●装弾数:21+1発
 ●税込価格:4万5,100円 ●絶賛発売中!!



メインスプリング・ハウジングは握りやすいストレートタイプ、グリップはG10製キンバー・タクティカル・グリップを再現したWA純正のHW樹脂製、滑りにくく、重量増加にも大きく貢献している。

そんなスーパー・アクション・ムービーをイメージしてウエスタンアームズ(以下:WA)が製作し、.45ファンを狂喜させたのが、キンバー・ウォリアー・カスタムをベースにした「ジョン・ウィック・モデル」。2015年に日本公開された一作目では、H&K P30Lや、グロックのバリエーションなど、さまざまなセミオートを使用したキアヌ・リーブスだったが、2017年に公開された二作目「ジョン・ウィック:チャプター2」では、HK、グロックに加えて、キンバー・ウォリアー、S&W M1911SC/Eなど、パワフルな.45オートを手に、迫力のアクションを展開した。

近代的なコンパクト・テクニックをふんだんに採り入れて、新たなアクション「ガンフー」を生み出した「ジョン・ウィック」。主演と製作総指揮を務めたキアヌ・リーブスが、多彩な銃器を手に、スピーディで華やかなガン・アクションを展開し、ファ



**ガンマニアを狂喜させる“ジョン・ウィック”シリーズをイメージしたムービーガン
 ウォリアー・カスタム / ジョン・ウィック・モデル**

ンを魅了して空前のヒットを記録した。スリーガン・マッチを制覇したカリスマ・インストラクター、タラン・バトラー、イスラエル対テロ特殊部隊隊員という経歴を持つ、アーロン・コーエンなどから近代的なコンパクト・テクニックを学んだキアヌ・リーブスのアクションはキレが良く、ハンドガン、ショットガン、アサルト・ライフルなど、種類によって異なるタクティカル・テクニックが、ガンフリークの憧れを誘う。

キンバーのタクティカル.45、ウォリアーは、米海兵隊特殊部隊「デルタ1」が採用した「マーサックICQB」の進化した。海兵隊の要請でセットしたアクセサリ・レールを、フレームに一体成型した近代型の.45だ。マーサックからウォリアーへの改編はなかったものの、関連モデルがLAPDスワットを始めとした警察関係に採用され、コマース市場で絶大な人気を誇



高い機能性を誇るタクティカル.45、キンバーのウォリアー・カスタム。米海兵隊特殊部隊が採用したマーサックの進化した型コマース・モデルだ。

※撮影用モデルはプロトタイプのため、量産品とは仕様異なる場合があります。



次世代電動ガン初のトリプルバーストが生む斬新鮮烈な撃ち心地！
匠の技術でコンパクトボディに収納された300gのカウンターウェイトが魂をも揺さぶるのか？

TOYGUN
REPORT

H&K

MP5A5

次世代電動ガン

Photo & Text by Takeo Ishii

株式会社 東京マルイ
☎03-3605-1113
www.tokyo-marui.co.jp

実銃の登場から55年余、初の電動ガン化から30年を迎える
「現代の銘銃」MP5が最新鋭次世代電動ガンとして堂々のデビュー！



H&K MP5はドイツのH&K(=ヘッケラー・ウント・コッホ)社が開発したSMG(=サブマシンガン/短機関銃)だ。
「プロジェクト64」という呼称で開発されていたこの銃がドイツで量産されたのは1966年の事。既に半世紀以上が経過している現在もなお、多くの国々の軍・警察では現役バリバ

実銃とはほぼ同じ約3kgの圧倒的質量感と極限までのリアルさを追求したメタル・ボディに最先端・最新鋭の電子制御次世代メカBOXを搭載！まさに王者の中の王者と呼ぶに相応しい「世界最高峰のMP5トイガン」が遂に誕生！

東京マルイはコッキング・エアガンとして1980年代にMP5A2(固定ストック)とA3(スライドストック)をモデルアップ。そして1992年10月19日にはスタンダード電動ガン「MP5A5」を発売している。

当時はまだ映画『ダイ・ハード』(1988)、『ダイ・ハード2』(1990)の余韻が日本の銃器ファンの脳裏に鮮烈に残っていた事もあり、三角形断面のハンドガードとスライドストックを備えた「映画と同じフォルムのMP5」は好評を博し、定番ベストセラー商品となる。更に10年後の2002年11月8日にはさまざまな改良を施し「MP5A5HG(ハイグレード)」としてリニューアルも果たした。

世界的成功を収めたサブマシンガンの名銃

りの主要装備であり、我が国=日本の警察でも「機関けん銃」として採用されている。

従来は「大量の弾をバラ撒ける安価な兵器」という位置付けだったSMGに、敢えてコスト上昇のリスクを承知

の上で「高い命中精度」という付加価値をプラスした事で、より緻密で高精度な作戦行動が要求される対テロ作戦に欠かせぬ装備として、1970年代~90年代にかけて全世界に普及したMP5は、20世紀後半を代表する「歴史的な銃」と言っても良いだろう。

GAS BLOWBACK GLOCK 19 Gen4



米軍ファン待望の
G19 Gen4(=第4世代)
ガスブローバック、
いよいよ発売!

試作サンプルによる撮影です。発売される商品とは仕様異なる場合があります。

月刊 **BOOTLEG!!**

THE GREEN BERET vol.31

グリーンベレー DJちゅうと 3 MADE ISSUEができるまで



現在月刊グリーンベレーを大好評連載中のDJちゅう氏。だが、その名こそ現用装備フリークの間には轟いてはいるものの、その実態は未だベールに包まれている。果たしてDJちゅうとは何者なのか？
氏が手がける人気急上昇中のミリタリーギアブランド、3 MADE ISSUEのルーツとは？
その2つの謎にコンバットマガジンが迫った！

構成 / 狩野健一郎

DJちゅうとは何者か？ ミリタリーとの馴れ初め

もともとアニメやゲームが好きで、とくに「機動戦士ガンダム 第08MS小隊」のリアルな戦争描写にハマりました。決定打は「メタルギアソリッド」で、どうしてもゲームに登場する銃が欲しくなり、M4A1のエアガンを買ったんです。まだ高一でした。その話を幼馴染みにすると、彼も実はM16を買っていて「じゃあ、サバゲやってみる？」ってことで、サバゲ風に二人で撃ち合っていました。そしたら当時在籍していた理科部の先輩がサバゲーマーで「俺がやるところ」に連れて行ってくれたんです。

まだサバゲフィールドが無い時代で、そこは歴代の先輩たちが管理人さんに許可を取ってサバゲをしていたキャンプ場でした。僕らが引き継ぐ頃には同じ学校の子らで6人くらい集まって「チーム・アサルト」というチームを結成したんです。その後、近所のホビーショップG-1（北九州市小倉のエアガンショップ）にたむろしていた他校の同年代に声をかけたりして、もっとも多い時で20人くらいいましたね。

M16使いの幼馴染もチーム・アサルトのメンバーで、ベトナム戦争映画好きだった彼は、ナム戦の格好をしていました。彼の影響で、自分もなにか装備を揃えたいなりました。ちょうどイラク戦争（2003～2011）の頃で、TVに米兵の姿が映ると、不謹慎かも知れませんが、カッコいいと思いました。既にインターネットは普及していて、



中田商店（東京上野の老舗サンプラスショップ）やファントム（東京東久留米のミリタリーショップ）のホームページを漁ると、TVで視た装備が売っていたので、すぐに中田で3C BDUを、ファントムでそれっぽいヘルメットを買いました。最初はレプリカも買っ

ていたんですけど、実物と値段の差がほとんどないと知ってからは、そっちを買うようになりました。当時の装備は今と比べると安かったので、ウッドランドのタクティカルロードベアリングベストも買ったりしました。それが僕と米陸軍との出会いでした。

グリーンベレーとの邂逅

やがてチームのほかのメンバーも海兵隊とかやるようになって、サバゲよりもコスプレに熱を入れるようになりました。その頃僕はチームリーダーになっていて、別のチームの大人も混じって、月1～2回の定例会を仕切っていました。フィールドに行ってもほとんどゲームは回さず、ずっと写真の撮影をしているみたいなことを、当時からやっていたんです。

今、思うと、福岡には当時そういうコスプレチームがたくさんあったんですよ。中でも有名だったのが「Team3 Fukuoka（福岡を拠点に活動していたSEALs装備の再現チーム）」で、ゾディアックボートに乗って川で動画を撮るとか、ボーチ1つにしても、中身を全部調べて再現して動画を撮ったりしていました。YouTubeはまだ先の話ですが、動画撮影の黎明期だったので、ああいう活動がしたい、って憧れる人やチームは多かったです。そういうミリタリーの土壌が福岡にはあり、僕もその洗礼を受けました。

福岡市内の大学に合格した僕は、親の転勤のタイミングとも偶然重なって、家族で福岡市に引っ越しました。福岡には「SSF75」というレンジャーの装備をやるチームがあって、興味を持った僕はチームに入れてもらい、地元のアサルトと兼任するようになりました。だから大学時代はレンジャーをやるのが多かったですね。同時にSWAT（福岡のミリタリー

3 MADE ISSUE ITEMS

>>> グリーンベレーデザイン



IRAQI 36th
Commando Battalion
3,000円



"Nous Defions
アドラー" ODA0235
2,700円 レガスピ製



ODA1216 "DEATH FOLLOWS"
& "FLYING SKULL"
DF (大) 1,900円、
DF (小) 1,300円、FS:2,200円



"IV" ODA3111
黒:1,600円
マルチカム:1,800円



"BLACK DEVIL" x
1st SFG" フラッシュ型
1,500円



SKULL 3rd SFG
フラッシュ型
1,500円



"スカル ボーン×ソード"
ODA366
1,600円



5th SFG Scorpion
1,500円



"メリケンサック"
ODA3336
2,700円 レガスピ製



"DEATH MACHINE"
ODA3334
(大) 3,000円 (小) 2,700円



"SKULL OF HEART"
1,300円



"MOUNTAIN CROSSED
ARROW" ODA7132
1,800円



"WE DO NOT NEGOTIATE
WITH TERRORISTS"
ODA3312 1,700円



"Necessary Evil"
ODA3335
3,200円 レガスピ製



"hindu kush" ODA7136
2,200円



"DIVERS" ODA7235
1,500円



"VICTORY OR
VALHALLA"
ODA3126
1,900円



"U.S. FLAG x DOL"
マルチカム
星条旗スプリッド
2,000円



>>> OGA/GRSデザイン



アスラーイール
2,200円



TF AWESOME
1,600円



"GRS"
ルーン文字
1,200円



バニッシャー スクエア
1,200円



>>> オリジナルデザイン



3MI トライ ロゴ刺繍 パッチ
1,800円 沖縄タイガーエンブ製



Valknut"
マルチカム:1,430円、
黒:1,000円



TAC PENGUIN
2,000円



DOL TRIDYMIT
2,000円



MOON BOARDERS
2,800円
(ステッカーセット)



JUSTICE PVS31&7
※ 廃番モデル



THE AMBIVALENCE
2,000円



トリジマイト
手裏剣
(大) 1,200円
(小) 1,000円



MASKED UP ANTI-COVID19
TASKFORCE2020
※ 廃番モデル



Sword of Damocles
※ 廃番モデル



Knife is PAINLESS
※ 廃番モデル



DOL ワンポイント Tシャツ
2,500円

USA FLAG Tシャツ
2,500円



DOL トリジマイトキャップ
※ 廃番モデル



強襲用レイドジャケット
※ 廃番モデル



SNAKE WEB BELT V2
2,800円



3MI ロゴ刺繍
チャンピオン
ボディTシャツ
4,500円



ODA9221
プリントTシャツ
6,500円



EUD テーブルポーチ
4,500円



THE STRAPS
ピストルブレース用
3,500円

JOEY RETAINER
STRAP
3,800円



SERPENT
SLING-2 POINT
9,500円



マルチ カトラリー ポーチ
3,200円



セーフティー キーリング V3 mini
3,000円



マルチ メスティン ポーチ
3,800円



正三角形が並んだロゴにブランド名と、4つのシルエットが浮かぶ。この4つは3MIが掲げているテーマで左からキャンプ・フィールド・アーバン・ミリタリーを意味する。さまざまな場面で活躍するモノ作りがコンセプト。

日本北方防衛の要

大湊 基地



本州最北の青森県。その青森県の最北にある、むつ市。そこに大湊基地はある。基地の外からも見ることのできる岸壁には「あぶくま」型など特徴ある護衛艦が勢ぞろい。そして、地元と一体となったカレーの町おこしも要チェックだ!

本州最北端にある青森県むつ市。そこに海上自衛隊大湊基地がある。大湊地方総監部が置かれ、大湊地方隊が編成されている。その他、艦載ヘリを配備する第21航空群第25航空隊が所在する航空基地がある。また、市内のランドマークともなっている釜臥山（かまふせやま）には、航空自衛隊の大湊分屯基地があり、ここにはレーダーサイトを管理する第42警戒群が置かれている。この基地で取り扱うレーダー装置J/FPS-5は、その見た目から

“ガメラレーダー”とも呼ばれており、2011年（平成22年度）から従来のJ/FPS-2より更新された。大湊基地は、陸奥湾の奥まった場所にある。青森県と北海道周辺の沿岸部や宗谷海峡、津軽海峡を守る北方防衛の要だ。1902年に横須賀鎮守府に所属する水雷団が配置された。1905年に横須賀鎮守府から独立し、大湊要港部を経て、1941年に大湊警備府となった。なお、警備府とは、鎮守府の格下となる組織である。1953年に大湊地方隊が編成され、翌54年

に海上自衛隊へと改組される。海上自衛隊では、北から大湊、横須賀、舞鶴、呉、佐世保と5つの場所に総監部を置いているが、大湊以外は鎮守府のあった場所だ。大湊地方隊は、大湊警備隊、大湊弾薬整備補給所、大湊造修補給所、大湊基地業務隊、大湊衛生隊、大湊音楽隊を大湊基地に置いている。この他、函館市に、函館基地隊（第45掃海隊等）、余市町に余市防備隊（第1ミサイル艇隊等）、稚内市に稚内基地分遣隊等を置いている。なお、大湊

造修補給所には海自で唯一のドックがある。艦艇をドックに入れるような点検や修理は、民間に委託するからだ。このドックは、通称“1万トンドック”と呼ばれており、旧海軍が使用していたものをそのまま引き継いでいる。この他、自衛隊大湊病院や海上訓練指導群大湊海上訓練指導隊など、指揮系統は別となる部隊や機関がいくつもある。大湊基地には、第3護衛隊群の第7護衛隊および第15護衛隊が配置さ



やってみな、飛ぶぞ!?

本格戦闘機フライトシミュレーター、LUXURY FLIGHT 搭乗記

●写真と文/ 織本知之 ●撮影協力/ ラグジュアリーフライトファイター店 ☎03-5579-7980 (受付時間10:00~20:00まで) <https://737flight.com>、狩野健一郎

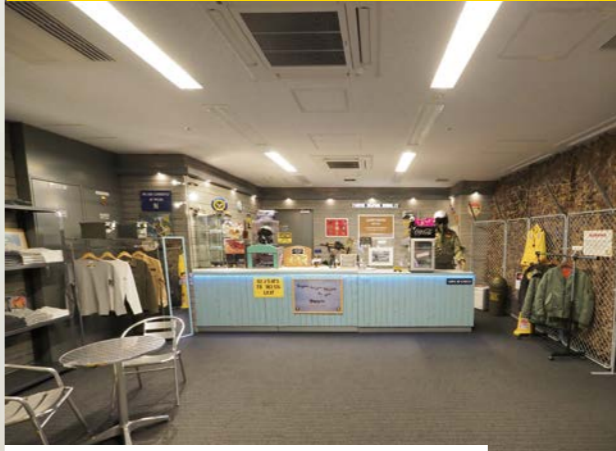


日本の仮想アグレッサースクールにエース(仮想)が降り立つ!

ここがLUXURY FLIGHT か! とフライトスーツ(実物)にパイロットヘルメット(実物)のタックネーム・ウマーベリック(シェフ狩野)。本日最高のシラフで登場。以上すべて、営業部今野氏私物。

LUXURY FLIGHTって?

航空ファンの方はもちろん、航空機に興味がある、パイロットを志したいといった人々に、航空機を操縦する楽しさや難しさをフライトシミュレーターを通じて知って欲しいと、現在、羽田空港第1旅客ターミナルビル5階にある「LUXURY FLIGHT 羽田空港本店」をはじめ、中部国際空港「FLIGHT OF DREAMS セントレア店」、羽田イノベーションシティの「LUXURY FLIGHT HiCity Fighter店」の3店舗展開。なかでも戦闘機シミュレーターは「Fighter店」のみ設置。機種や予約、営業時間などは<https://737flight.com/>をチェック!

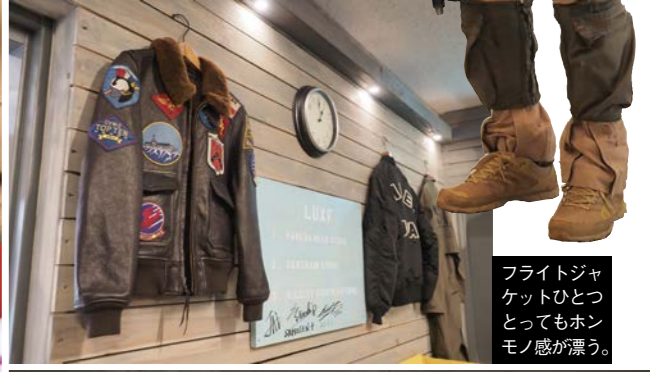


LUXURY FLIGHT HiCity Fighter 店内。広々としたスペースに各種ウェアや飛行機関連のアイテムが並び、これはヒコキー趣味人にはたまらない空間。

ぜんぶ合わせるとけっこう洒落にならない金額のウェア&装備。ヒコキー趣味って…(スペシャルサンクス、営業部今野氏)。



きたれ航空男子、おいでやせトップガン女子。



フライトジャケットひとつとってもホンモノ感が漂う。



LUXURY FLIGHT代表取締役岸田氏(左)とアドバイザーの元空自パイロット佐々木康雄氏(右)。

土に根をおろした活動が好きなき我々サバゲ三等兵。好きな唄はなんといっても「ゴンドアの谷の歌」。風とともに生きよう、種とともに冬を越え……。「風たちぬ、いざ生きめやも!」高らかな笑いととも、歌う我々の前に現われたのはワールドフォトプレス社きってのヒコキー野郎こと敏腕営業メンの今野氏。氏は常々、男臭く泥臭い我々の活動を微笑ましく

思いながらも、いつか青く澄んだこの大空に羽ばたかせてやろうと密かに思っていたとのこと。しかし、人間が大空へ羽ばたくためには航空機の力が必要。そして我がチームは誰ひとりとして飛行機の免許をもっていない。しかし、誰かが舵を握らねばならぬ。よし、それではまずはフライトシミュレーターから始めよう! 今野氏「それではメンバーからフラ

イトシミュレーター体験要員を決めたいと思う! 広報オリモ! 好きなヒコキー映画は?」オリモ「はい『紅の豚』っす! 尚、カラオケでは『空の神兵』が十八番ス!」今野「古っ! プロペラ機&落下傘兵! 却下。次、シミュレーションを拗らせているといえば千葉隊長だな! 素振りシミュレーション歴はそろそろ40余年、いまだ生身の……」

千葉「押忍! 剣聖とはその切った数を生涯ひけらかすことはなかったそうです。オデだって、こう見えて結構……」今野「嘘をつくな。失格。すると残りは……シェフ狩野」シェフ狩野「好きなヒコキー映画は『トップガン』、ゲームの方もアフターバーナーを少々。希望タックネームはシェフだけにウマーベリック」今野「……キマリだな(満場一致)」



Tシャツやワッペンなどいかがですか?



オリジナルグッズやステッカーなどなど。